

2009.1.31 公害環境デー

継続的なNO<sub>2</sub>測定を

地域のまちづくりに活かす取り組み

道路公害に反対し、東住吉区の環境を守り  
街づくりを考える連絡会



## 高架となったJR阪和線 (阿倍野区・美章園-住吉区・我孫子)

### NO<sub>2</sub>カプセル設置



# なのはな

通学公道区長と市民の環境  
活動のつどい  
連絡先 東住吉区交差点116  
6713・9464  
松田 安弘

避難路として重要  
意識してもらっては  
せせきや子どもも  
心して遊ぶ所も必要

天王寺大和川線に  
ついて最近鶴ヶ丘駅周辺の町  
区に同意で開かれた駅前長  
原公園北側一道路の高架下通  
と全体的な一方向通行につ  
いて、駅と仮設駐輪場の行き  
来の安全問題での改善にはな  
が、さらに通行方法の改善は  
可能(駅への南側道路に基本  
にクルマを運ぶ)である  
この指摘や、みちみどり会  
議について、これまでの大阪  
の姿勢からすれば、開明な  
ものであるけれど、これが市民  
にとって本当に「好いもの  
のかどうか」は、まさにこの中  
身にかかっているのだからと  
取り組んでいくことが必要と  
う問題提起もされました。

天王寺大和  
川線計画の  
具体化を討  
論する「み  
ちみどり  
会」

## 人を呼ぶ/ 魅力ある“みち”へ

マンション9階に座って行き、  
上から見るとアスファルトの  
本道が目立った。落葉一面の  
みちもよいのでは。  
車の通るみちは要らない。堺  
の土居川のような道がよい。  
周辺住民の中に、立ち退きで  
町が寂れたという思いも多い。  
魅力あるみちにして、京  
都の哲学の道によ  
うに人を呼ぶ。



落葉、落花は一時的で、  
風情があつてよいのでは。  
参加者はあわせて22名  
でした。

道公運運動について「ええ  
ことやってるのに間違いない  
けれど、運動に参加する人の輪  
を広げることが重要という認  
識はほぼ共通するものの、その具  
体的な手立てについて、なかな  
かこれ！という特効薬はみ  
つからないことや、この課題に  
関わってなのはなやホーム  
ページの活用方法、さらには  
そのために「組織」ひとの問  
題となることなどを再確認。  
これまでとして「これからも」  
むしりけれど「このことに取り  
組むことが道公運の運動、その  
のであること、そして何より元  
気のある楽しい活動としていく  
ことを肝にして、これからも  
かめました。

天王寺大和  
川線計画の  
具体化を討  
論する「み  
ちみどり  
会」

(1)

なのはな47号



## 東住吉道公運 第14回定期総会

12月17日(水)午後7時/東住吉会館

今年の総会は前半部分で、この1年間取り組  
んできた「天王寺大和川線計画」「阪和線関係  
」「学習」「NO2・SPMの自主測定」「美草園駅  
の運動」などの活動経過の報告と今後の運動を進  
める体制などの確認を行なった後、後半部分で  
は確認された方針に基づいて早速3つのグル  
ープに分かれて(それぞれの内容は別に報告記  
事)の「懇談・討論」としました。

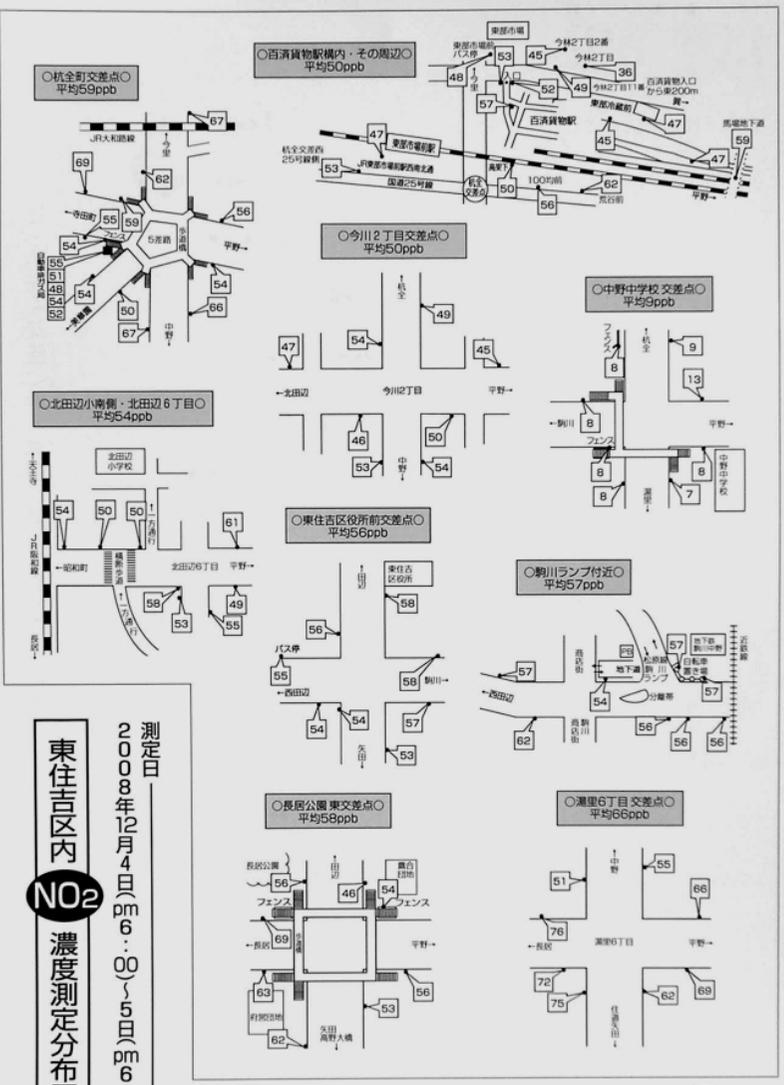
また当日、会場には道公運活動の内容を知ら  
せる6枚の展示パネルで写真や図表、印刷物な  
どを使ってこの間の活動の様子や内容などを掲  
示しましたが、これらのパネルの前では「ああ、  
そういえばこんなこともあったねえ」、「この  
グラフからはこういうことも読み取れるのちが  
う？」などなど、思い思いの花も咲いていま  
した。

みなさんから19,000円の訴えに  
カンパが集まりました。ほんとう  
にありがとうございました。

懇談会で  
盛り上がる



道公運運動について「ええ  
ことやってるのに間違いない  
けれど、運動に参加する人の輪  
を広げることが重要という認  
識はほぼ共通するものの、その具  
体的な手立てについて、なかな  
かこれ！という特効薬はみ  
つからないことや、この課題に  
関わってなのはなやホーム  
ページの活用方法、さらには  
そのために「組織」ひとの問  
題となることなどを再確認。  
これまでとして「これからも」  
むしりけれど「このことに取り  
組むことが道公運の運動、その  
のであること、そして何より元  
気のある楽しい活動としていく  
ことを肝にして、これからも  
かめました。

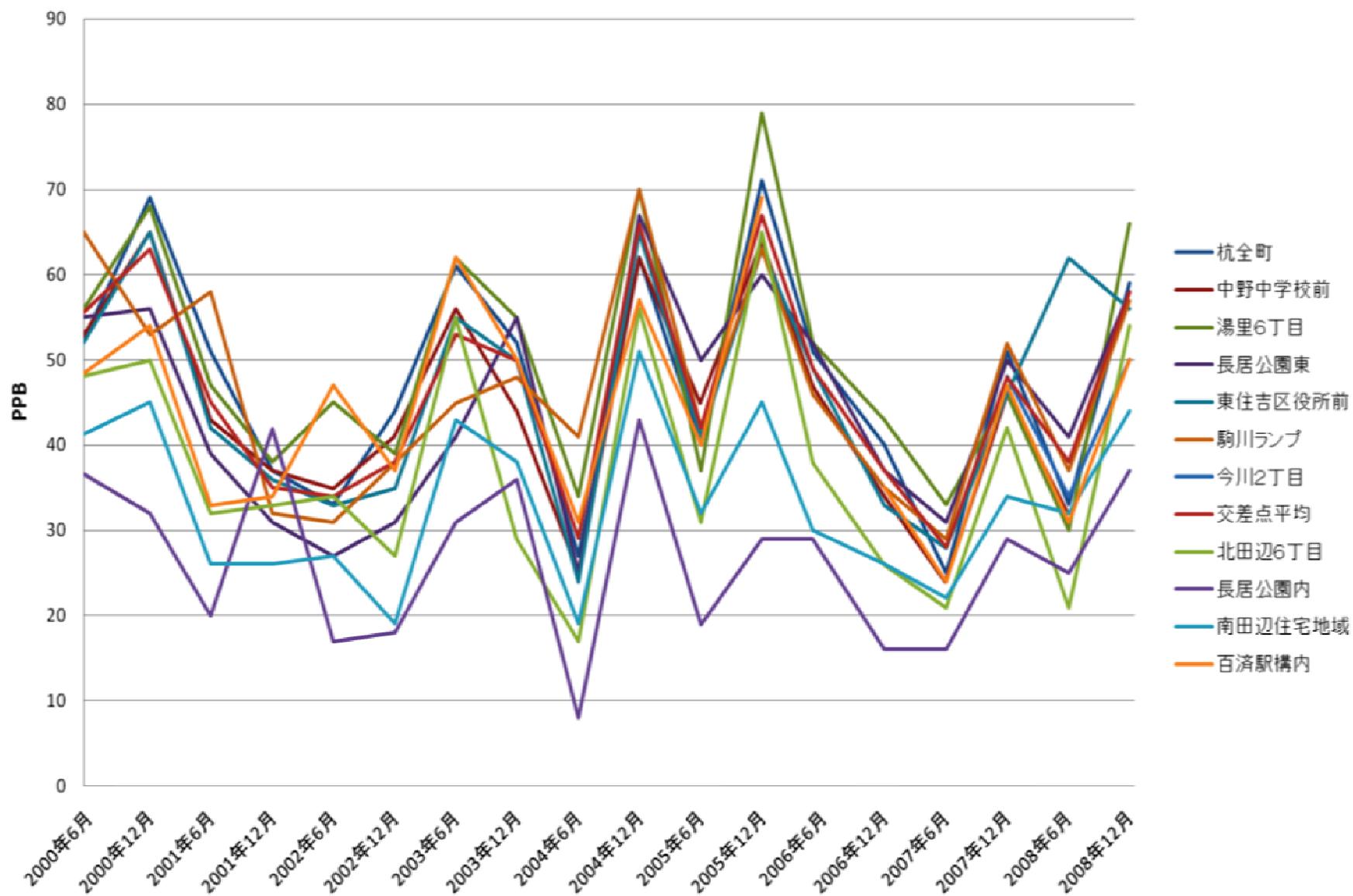


測定日  
2008年12月4日 pm 6:00 ~ 5日 pm 6:00  
東住吉区内  
NO2  
濃度測定分布図

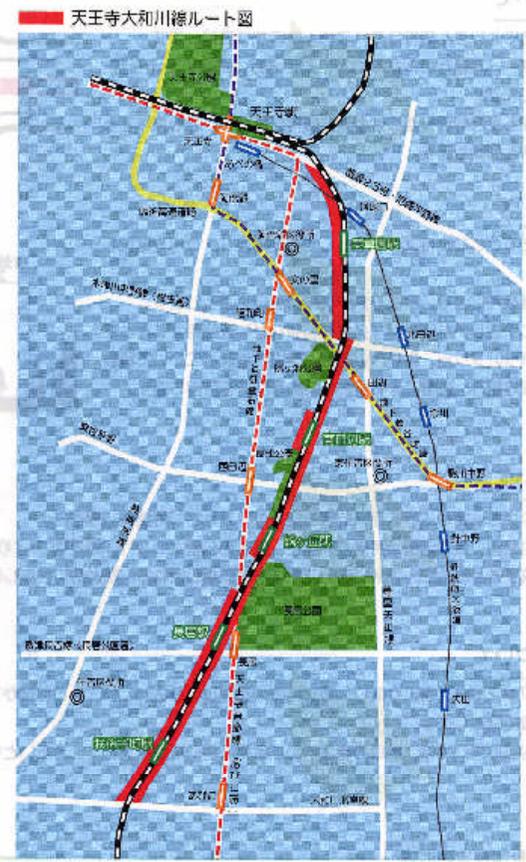
交差点のカプセル取付位置ごとに測定値をppb単位で表示しています。  
50ppbは0.050ppmに相当します。



NO2濃度年度別分布・対比一覧表(2000.5~2008.12)



# 天王寺大和川線ルート図



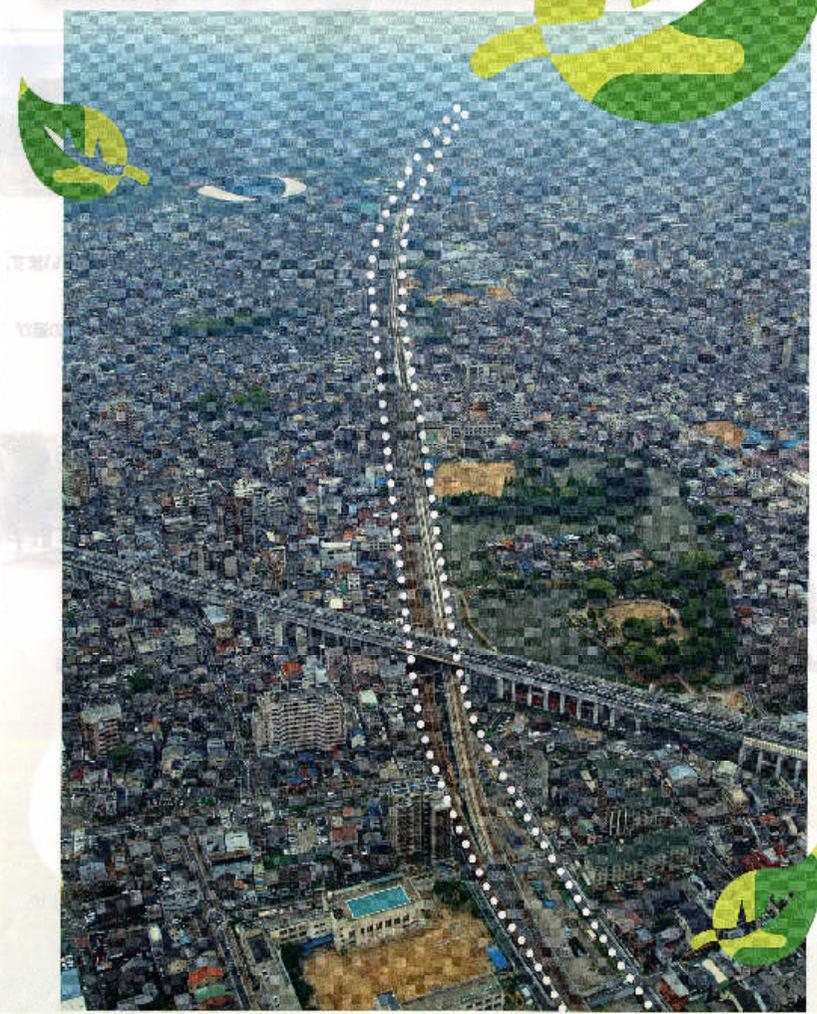
**道路に関する問い合わせ先**  
 建設局 道路部 街路担当  
 〒559-0034 住之江区南港北1丁目14番16号  
 WTCビル 11階 TEL 06-6615-6755

**公園に関する問い合わせ先**  
 ゆとりとみどり政策局 緑化推進部 計画担当  
 〒559-0034 住之江区南港北1丁目14番16号  
 WTCビル 17階 TEL 06-6615-0943

平成20年6月20日 作成

# 風かおる“みち”

都市計画道路 天王寺大和川線の整備計画に向けて



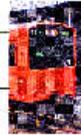
こもれびの中駅まで歩いてみる

豊かなみどりが街の熱気を鎮め心地よい風が頬をなでる

ゆったりとした歩道ジョギングを楽しむ人々

歩道とひとつながりになった公園までかけこして行く子ども達

時折行き交う車もこころなしかつろいで走っているように見える



## 風かおる "みち"



そんな道でありたいと考えています。

そして そのような道は 今のつくりだけではできないと思っています。

地域に住み 地域を愛する皆さんの まちに注ぐ思いによってこの道が  
永く愛される道になるように。

これから、皆さんとともに、「風かおる"みち"」づくり  
をはじめたいと思います。



風かおる "みち" を 永く愛される "みち" に

「いつまでもきれいで 快適な道路であってほしい」

みんなで育む「みちづくり」

そんな願いを込め 地域の皆さんが 花の手入れや清掃などに

積極的に活動していただける制度の導入を目指します。



## 天王寺大和川線の整備方針



### 車道について

- ① 基本的に北行きと南行きそれぞれ1車線ずつ確保します。
- ② 幅員は、一方通行の場合4.0m、対面通行の場合7.0mを基本とします。
- ③ 交差する主な幹線道路には中央分離帯を設け、通り抜けする自動車を抑制します。



### 歩道について

- ① ゆったりとした歩行スペースとして有効幅員3.0mを確保します。
- ② 植樹帯などにより、みどりの豊かな幅の広い歩道とします。
- ③ 環境にやさしい舗装材料（保水性舗装など）を使用するとともに、バリアフリー、景観への配慮、無電柱化などについて積極的に取り組み、快適で人にやさしい歩行空間を目指します。



### 緑地について

- ① 道路中央に一定の広さを確保できる空間は、緑地として整備します。
- ② 林ヶ池公園、長池公園や長屋公園など、既存の公園とつながり、新たなみどりのネットワークを形成するとともに、アメニティ豊かな市民に親しまれる空間として整備します。



### 駅周辺について

- ① オープンスペースを広く取り、新しい街の玄関口にふさわしい、みどりの豊かで、安全で快適な歩行者空間とします。
- ② 整備内容については、地域の皆様方のご意見を伺いながら進めていきたいと考えております。

### 道路都市計画決定の内容

決定年月日 : 平成16年3月12日 4種2級 大阪市告示第237号  
 起点 : 阿倍野区天王寺町南1丁目(国道25号・足崎平野線)  
 終点 : 住吉区山之内元町(大和川北岸線)  
 延長・幅員 : 延長 約5,520m 標準幅員 29m  
 車線数 : 2

注) 幅員は11~46mと変化しており、29mを標準的な幅員としています。  
 国道25号 ~ 木津川平野線 30m程度  
 木津川平野線 ~ 敷津長吉線 15m程度  
 敷津長吉線 ~ 大和川北岸線 10m~20m(片側幅員)

## 天王寺から大和川へ「緑の回廊」にむけ大きな一歩に

—大阪市の阪神高速「大阪泉北線」廃止決定を歓迎する—

12月15日、大阪市都市計画審議会が開催され、阪神高速「大阪泉北線」廃止が決定されました。同時に、高速道路予定地は、植栽とベンチ、一般道、自転車道などを複合させ、憩いの場や防災空間を兼ねた「緑地道路」として整備する方針が決定されました。JR阪和線の高架化の3階部分に高速道路をつくる計画に反対し、公害のない緑豊かなまちづくりを求めてきた私たちは、遅すぎたとはいえ今回の決定を心から歓迎するものです。

大阪泉北線は、1971年に計画が発表されて以来、町会、住民の広範な反対運動が行なわれ、黒田知事は「住民の合意なしに決定しない」と約束しました。ところが、'81年、岸知事に代わるや大阪府は、広範な反対を押し切って都市計画決定を強行し、地域住民に立ち退きを押しつけました。着工を目前に起きた、'95年1月の阪神・淡路大震災は、3階建て高速道路計画が安全性を軽んじた無謀極まりないものだとすることを尊い犠牲をもって教えたのです。その後も、道路予定地に「活断層」の存在が明らかになり、「公害道路はいらぬ」との世論が全国的に広がり、道路行政の側にも「採算の合わない道路はつぐらぬ」との方針が打ちだされざるをえませんでした。

私たちは、この高速道路計画が、はじめから決定されるべきものではなかったと確信します。住民の不安、疑問、反対を踏みつけにしてきた大阪市、大阪府の猛省を促したいと考えます。

阪和線高架後の跡地、高速道路計画による空地の利用は、地域住民の意見を十分採り入れたものとすべきことは言うまでもありません。そのうえで、私たちは、天王寺から大和川へ「緑の回廊」をつくることを提案するものです。

大阪の「ヒートアイランド現象」は深刻で、緑被率もみすぼらしく、防災空間も不足しています。長居公園を真ん中に、北は天王寺、南は大和川へ、虫・鳥なども通う「緑の回廊」「風の道」の実現を期待するものです。

2003年12月20日

道路公害(泉北線)に反対し、東住吉区の環境を守り街づくりを考える連絡会



移転工事前の梅田貨物駅(大阪駅北ヤード)

